

## 令和 5 年度 島根県 公立 高等学校 入学者 選抜 学力 検査 について

### 1 学力検査結果の概要

本概要は、令和 5 年 3 月 7 日に実施した学力検査における受検生の解答と得点状況を総括し、受検生の学力の傾向を示している。なお、過去の平均点や得点状況のデータも参考として掲載しているが、年度により問題の難易に差があるため、単純に経年比較することはできない。

#### 【全般】

本検査は、中学校学習指導要領に沿って、日頃の学習で積み上げられた基礎学力を測るものであるとともに、問題作成にあたっては、知識及び技能に加えて、思考力、判断力、表現力等を問う問題を重視した。

学力検査結果全般から読み取れる学力の傾向は次のとおりである。

- ① 基礎的・基本的な事項については概ね定着している。
- ② 文章や図表などから何が問われているかを正確に読み取り、知識を相互に関連付けながら活用する力や、適切に表現する力に課題がある。

#### 【国語】

日常で使う漢字、書写、古典の知識、話し合う際に必要な知識など、基礎的・基本的な事項はよく身に付いていた。文章読解では、各段落や一場面の内容を捉える力は付いていたが、文章全体や関連する二つの文章を読み取って答える問題の正答率は低かった。また、記述式の問題の正答率が低かった。作文は、条件を満たして書くことができずに減点となった解答が多く、漢字の誤字や平仮名を多用する解答も目立った。漢字を含めて語彙を豊かにするとともに、まとまりのある文章の要旨を捉える力、読み取ったことを適切な言葉や表現で説明する力、適切な根拠を示して自分の考えを書く力の育成が望まれる。

#### 【社会】

基礎的・基本的な事項を問う問題については正答率が高く、基本的な知識や技能は概ね身に付いていると考えられる。一方、複数の資料を関連付けて考える問題や、思考・判断したことを定められた条件のもとで表現する問題については正答率が低く、資料の読み取りが不十分な解答や、指定された語句を適切に用いることができている解答が多く見られた。それぞれの資料から読み取れることを関連付けて社会的事象を捉える力や、自分の考えを整理して適切に表現する力の育成が望まれる。

## 【数学】

知識及び技能を問う問題は正答率が高く、基礎的・基本的な事項はよく身に付いている。また、学習指導要領の改訂で内容の充実が図られた統計分野についても、対応できている様子がうかがえる。一方で、それぞれの知識を相互に関連付けながら活用する問題の正答率は低かった。解答の方向性を決定するために、着目すべき性質や関係を見いだすことに課題がある。概念的な理解や、数学的に説明することもまだ十分とは言えない部分がある。数学的活動を通して、事象を数理的に捉え、論理的、統合的・発展的に考察する力の育成が望まれる。

## 【理科】

全分野において知識及び技能を問う問題の正答率は高く、基礎的・基本的な事項はよく身に付いている。また、授業で扱った観察・実験に関する問題の正答率も高く、探究の過程を通じた授業の充実がうかがえる。一方で、身に付けた知識を活用して解く観察・実験に関する問題の正答率は低かった。未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等を育成するために、自然の事物・現象と関わり、探究の過程を通して、理科の見方・考え方をより一層豊かで確かなものにしていくことが望まれる。

## 【英語】

短い文章や図表から必要な情報を読み取る問題や、英文の中に解答と直結する表現がある問題の正答率は概ね高かった。一方で、長めの文章を読み、深く思考した上で答える問題や、読み取った内容をもとに英語で自分の考えを表現する問題の正答率は低く、学習指導要領に基づき、新たに中学校で取り扱うことになった文法事項や増加した語彙にうまく対応できていない様子が見られる。基本的な語彙の定着と、複数の技能を活用する力の育成が望まれる。

## 2 学力検査得点状況について

## (1) 平均点・標準偏差

年度 教科	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国語	30.6	8.6	29.0	7.1	35.5	7.6
社会	27.9	9.0	30.5	10.4	29.2	9.4
数学	26.3	10.5	24.7	9.3	24.9	10.4
理科	29.8	11.6	26.9	11.4	29.1	10.1
英語	24.6	11.4	22.2	10.1	24.8	10.9
総得点	139.2	45.6	133.2	43.5	143.5	42.8

※各教科50点満点

※標準偏差……得点の散らばり具合を数値で表したものの。大きい値であれば幅広い得点分布となり、小さい値であれば平均点付近に集中した分布になる。

## (2) 総得点分布

年度 得点	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人数	%	人数	%	人数	%
220点以上	98	2.6%	46	1.2%	85	2.3%
200～219	286	7.5%	199	5.3%	279	7.6%
180～199	442	11.6%	387	10.3%	455	12.5%
160～179	538	14.2%	496	13.2%	586	16.1%
140～159	563	14.8%	574	15.2%	583	16.0%
120～139	547	14.4%	589	15.6%	571	15.7%
100～119	485	12.8%	540	14.3%	473	13.0%
80～99	432	11.4%	475	12.6%	320	8.8%
60～79	258	6.8%	299	7.9%	195	5.3%
60未満	150	3.9%	164	4.4%	101	2.8%
計	3799		3769		3648	

## (3) 各教科を担当する教員の学力検査に対する意識調査結果

(中学校等 99校 高校 39校)

教科	校種	内容の程度			問題の分量		
		もっと下げる	ほぼ適当	もっと上げる	多い	ほぼ適当	少ない
国語	中学校	2.0%	91.9%	6.1%	2.0%	97.0%	1.0%
	高校	0.0%	94.9%	5.1%	15.4%	84.6%	0.0%
社会	中学校	1.0%	88.9%	10.1%	2.0%	96.0%	2.0%
	高校	2.6%	92.3%	5.1%	10.5%	89.5%	0.0%
数学	中学校	3.0%	95.0%	2.0%	6.1%	93.9%	0.0%
	高校	0.0%	97.4%	2.6%	7.7%	92.3%	0.0%
理科	中学校	2.0%	84.9%	13.1%	4.0%	95.0%	1.0%
	高校	0.0%	79.5%	20.5%	0.0%	97.4%	2.6%
英語	中学校	4.0%	96.0%	0.0%	8.1%	91.9%	0.0%
	高校	7.7%	89.7%	2.6%	7.7%	89.7%	2.6%

## (4) 得点分布

